

分野	項目	具体的な取り組み事業等	令和2年度	令和3年度				令和4年度	完了目標等
			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期			
1 住まいの確保と総合的な支援	①仮設住宅等入居状況	・建設型仮設(1/30=37世帯) ・みなし仮設(12月最終受付130世帯)	建設型仮設 (R3.5.31=37世帯) みなし仮設 (R3.5.31=110世帯)	建設型仮設 (R3.10.31=35世帯) みなし仮設 (R3.10.31=101世帯)				建設型：R4.9月or10月まで みなし：契約から2年間	
	②災害公営住宅の整備等	住民説明会 3/6：国、県、市合同開催（坂本町代表者等） 3/27～30「住まい再建に関する説明会」国、県、市合同開催（旧小学校8校区）	必要戸数設定 6月：第1期供給方針決定：5地区、35戸 6/27 災害公営住宅 説明会開催	・入居希望を踏まえ詳細検討 ・建築候補地の調査等 6/27～7/31災害公営住宅仮申込受付 申込者：3.4世帯	10/20 災害公営住宅 建設地決定（国・県協議）	11/10～12/3 災害公営本申込受付 11/14 災害公営住宅に関する説明会開催	12月中 災害公営住宅 建設戸数・構造確定予定	災害公営住宅へR5年度から入居開始予定（①藤本・大門(10戸)R5.9月頃②合志野(5戸)R5.4月頃③荒瀬(5戸)未定④中津道(5戸)R5.7月頃・R7年度入居：⑤坂本駅(10戸)	
	③被災者見守り対策事業	地域支え合いセンター活動開始(R2.10.19)	住まいの再建意向調査 3/26～5/31	地域支え合いセンター活動状況 ・支援対象世帯424 (R3.10月末現在)：仮設住宅、みなし仮設、在宅、一般公営、住宅等(支援終了58世帯) ・支援内容：総合相談窓口 訪問活動による生活状況確認、見守り安否確認、コミュニティづくりのコーディネート、ボランティア団体等との連絡調整、被災者生活再建に向けた各種支援等				R4.1月～ 仮設住宅供与期間延長の手続	仮設住宅入居者及び在宅被災者の生活再建が終了するまで
	④安全な居住地の確保	住民説明会 3/6：開催 3/27～30開催	第1回懇談会 6/6：旧小学校8校区の代表者	第2回懇談会 地区ごと(7/7～7/18)	第3回懇談会 (10/22～11/7)	第4回懇談会 (12月中)	定期的な情報交換実施(1回/月)		R5年度から地区毎のまちづくり整備事業に着手
	⑤災害等廃棄物処理事業（公費解体の進捗状況）	公費解体申請受付受理件数 291件	災害廃棄物（公費解体を含む）の仮置場受入れ・処理 (11月末時点 公費解体・・・291件、自費解体=5件の解体完了)				国・県協議		R3年12月公費解体完了見込み 復旧工事（R4.3）
	⑥次世代を担う子どもの育成(1人1台タブレット)	1人1台端末配付完了	ICTを活用した教育の推進・充実（R5以降も継続） 職員研修等の充実（ICTを活用して授業を実施した教員→100%） 5/14,21,28,6/4:市タブレットパソコン活用研修会						R3年度中に授業実施100%
2 地域コミュニティの維持・再生	⑦地域コミュニティの核となる施設（自治公民館等）の再建・整備への支援	住民説明会 1/19：開催	地区の意向把握及び所要額調査 6月：6自治公民館へ支援決定	整備年毎に状況把握、所要額調査及び自治公民館再建支援のための補助金の交付	地区の意向把握及び所要額調査（R4）			地区の意向を考慮しながら実施	
	⑧神社仏閣・文化財等の被害調査及び復旧事業	指定文化財被災確認・保存法検討	県重要文化財「大門観音堂の鯛口」 ・修復業者と修理計画・工程打合開始	市指定天然記念物「中津道阿蘇神社の森」 ・枯死樹木の伐採について、地元と協議、伐採着手予定				地域の意向を考慮しながら実施	
	⑨国・大学等との連携や「地域おこし協力隊」等の外部人材の受入れや活躍の促進	大学との連携検討 3/1：学生G P（地域連携型卒業研究）採用 テーマ①観光振興分野②山林保全分野	大学への提案事業の採択を受け、連携事業実施 6月：「中津道阿蘇神社」「天洞堂」再建着手→8月：「天洞堂」竣工、10月：「中津道阿蘇神社」竣工 12月：「水天宮」用具類新調着手	中間報告会・オンデマンド配信 (10/18～22)	学生等現地打合せ (11/8)	大学との連携検討			・大学と地域の連携支援 ・任期満了後も地域の活力となる人材の確保

分野	項目	具体的な取り組み事業等	令和2年度	令和3年度				令和4年度	完了目標等
				第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
産業・経済の再生	3 産業基盤の早期復旧	⑩仮設商店街による暫定的な事業再開の支援	仮設店舗建設2/1~5/31 入居者募集2/3~随時 事前説明会2/3 入居者決定5/28:9事業者	<ul style="list-style-type: none"> 6月 「さかもと復興商店街INCOCOSA」の開催、鍵渡し式、 7月 「オープニングセレモニー」の開催 8月 「さかもと夏物語」の開催 10月 「さかもと星空映画祭」、「坂本の「美食」を満喫！~さくらげの収穫と木工教室~」の開催 11月 「さかもと復興商店街のポイントカード事業」、「サンライフ八代の作品展示と出張講座」、「坂本おどんがふるさと祭り」の開催、生活交通確保事業の実施（~R4.1.31） 12月 「ミニ「門松」づくり体験会」の開催予定 入居事業者の状況：10事業者、1区画募集中(11/15時点) A棟：約100㎡×2区画、約50㎡×1区画 B棟：約50㎡×8区画、トイレ×1区画				R5年度7月末までの設置予定	
		⑪道の駅「坂本」・周辺施設等の早期復旧	さかもと館 仮復旧工事完了5/10	さかもと館 仮営業再開 5/22:営業再開 6/3:プレオープン (6/18樹木伐採) 7/3:ランドオープン	関係者協議 5/10・5/24・6/21復興商店街との協議		復旧方針の検討・決定	設計	道路・河川復旧の状況に応じ、工事着手
	4 産業・経済の復興	⑫各地域の文化財等の魅力を活かした地域おこし	(内部協議実施) 文化財等の把握	関係者との協議実施 7/15坂本住民自治協議会					道路・河川・JR等の復旧状況、旅行者のニーズの把握を進め、可能な事業から着手
				6/22~9/26博物館：展示会「坂本町の暮らしと信仰」	官民共同して実施可能な事業から実施				
		⑬観光資源を活用した観光ルートの再構築	(内部協議実施 → 8/12現地調査実施：経済文化交流部・DMOやつしろ)	観光資源の抽出		旅行者ニーズ・観光動向の把握			
			(7月:地元と意見交換) 関係者の協議実施	観光ルート等の策定・PR活動					
		⑭自然を活用した新たな取り組み支援	観光物産支援 びぶれす広場物販販売 (2月,3月,4月)	(7月:地元と意見交換) 関係者の協議実施	事業のPR活動等の支援実施				
			⑮「食」を軸とした各種イベントの開催支援	坂本ふるさとまつり運営委員会での検討支援	6/30 運営会議	9/14 (臨時運営委員会で中止決定)		令和4年度の開催支援	

分野	項目	具体的な取組み事業等	令和2年度	令和3年度				令和4年度	完了目標等
				第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
社会基盤・防災の再生	5 持続可能な社会基盤づくり	⑩郵便局・金融・病院等生活サービスの早期再開への支援	郵便局等との協議(暫定対応)	坂本郵便局仮店舗(坂本地域福祉センター敷地内工事5月31日～) 7月開業	巡回診療車、遠隔医療の導入に向けた関係機関との協議・検討			R7年未までの小さな拠点(コンパクトシティ)の形成に向けて各種生活サービス提供体制を確保	
			坂本地域福祉センターを配達員の休憩所等として貸出(12/10～)	医療提供体制の再建に向けた関係機関との協議・検討	「医療を提供する場」確保に向けた関係機関との協議・検討等				
			「なりわい再建支援補助」 R2.8.26～(3日前)説明会(53名参加) 交付:20件→交付決定20件(11/15現在)	第11次受付期間～第13次受付 令和3年7月1日(水)～9月15日(水) 第14次受付期間 令和3年10月1日(金)～10月15日(金) 第15次受付期間 令和3年11月1日(月)～11月15日(月) 第16次受付期間 令和3年12月1日(水)～12月15日(水)					
	⑪八代市坂本支所の整備	R33～坂本支所仮設庁舎開設(R7年度未)	配置、機能、構造等の検討・決定	支所再建に向け関係機関との意見交換	関係機関との意見交換会実施7/27	10月:情報共有・進捗状況確認(個別)	関係機関との意見交換	基本設計着手	R7年未までに坂本支所再建・郵便局・金融機関・商工会・各種組合等→八代市坂本支所再建に合わせて協議継続
		有識者検討会	5月,6月:個別の意向調査等実施	支所周辺概略設計(敷地計画、道路配置計画等)					
	⑫坂本町コミュニティセンターの整備	地域福祉センター内コミュニティセンター移設(R3.4月～再建まで)	地域住民や地域活動団体等との意見交換 6/17:住民自治協議会へ意向確認(再建位置) 9/30:住民自治協議会要望に対する回答(支所と同じ場所への整備を進める)・意見交換 再建位置決定後、住民自治協議会との意見交換(規模、機能)					基本設計着手	R7年未までにコミュニティセンター再建
		内部検討実施	整備方針検討(位置・規模等)	被災施設解体工事					
	6 情報ネットワークの充実	⑬光ブロードバンド整備	民間事業者による光BB整備(設計)	地域住民着工説明	民間事業者による光BB整備(工事)	開通住民説明会	サービス開始	R4年度未までに光BBサービス開始	
			⑭CATV施設更新	光BBを活用したCATVサービス提供の検討					光BB開通後、R5年度以降
	7 防災・減災のための基盤整備	⑮広域的・多様な道路ネットワークの構築	要望書提出9月:済	市道・林道の道路ネットワーク検討(リダンダンシーの確保検討) 内部検討実施	期成会総会開催(6月:書面開催)	道路管理者(県)への要望活動 12/20 坂本人吉線・期成会要望	継続した要望活動	県道 坂本人吉線、小鶴原女木線	
			改良や維持補修が必要な場所等の調査	9/14 要望書提出	継続した要望活動	県道 破木二見線 県道 田上日奈久線			
⑯市道、林道の復旧事業		災害査定一部復旧工事発注	市道・河川災害復旧工事(道路51箇所、橋梁1箇所、河川16箇所) 着手:道路13箇所、橋梁0箇所、河川12箇所 完了:道路5箇所、河川8箇所					市道:R5年度完了を目標 林道:R6年度完了を目標	
			林道施設災害復旧事業の実施(林道坂本山江線など31路線) 着手(工事中):11路線15箇所、完了:2路線2箇所						
⑰市道・林道など拡幅整備等			災害防除工事(下深水板ノ平線)						
			道路改良工事(横石・小川線、木々子・板ノ平線ほか) 計画的実施					必要箇所を随時実施	
8 地域防災力の向上	⑱ICTを活用した多様な情報伝達の早期整備	R2.11月国へ要望実施	国への要望					スマートICの設置	
		スマートIC設置事例調査	関係機関との協議	スマートIC設置に向けた調査・検討					
	⑲新たな防災拠点の検討	新たな防災拠点の位置づけ、機能等の検討	復興まちづくり計画(素案)へ反映(右岸・左岸に各1箇所)				R3年度中に整理・支所の再建と同時期		
⑳ICTを活用した多様な情報伝達の早期整備	防災行政情報通信システムの整備		システムの運用(防災アプリ、メール、一斉架電、個別受信機、屋外拡声子局、SNS等により情報配信)					令和3年度出水期までに新たな防災行政通信システムを運用開始	
		住民説明会終了	情報受信手段の登録支援を坂本支所などで随時実施中						
		屋外拡声子局の整備終了							
		衛星携帯電話の配備完了 ※坂本方面隊にて管理	7月:情報伝達訓練実施	衛星携帯電話の運用				R3年度出水期までに配備等を完了	
㉑集落の孤立に備えた通信手段等の確保	Q-ANP(安否確認システム)の配備完了(坂本支所)	Q-ANP(安否確認システム)の運用(実証実験)、アプリ登録の周知・支援の実施							
㉒防災教育の推進(児童のマイタイムラインの作成)	学校に作成通知	作成準備 学校:防災教育(授業)の実施 6/18 防災教室(坂本中)	防災教育の実施			R3年度中に作成完了			
		4/28 小中合同避難訓練	児童生徒:マイタイムラインの作成			見直し・改善			